

2022(令和4)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
阿山地域部会 議事概要

■開催日時 2022(令和4)年6月10日(金)
午前10時00分～午前11時33分

■開催場所 阿山支所 会議室1・2

■出席者 (敬称略)

【委員】

出席：奥井 平和 (河合地域住民自治協議会会長)
岩崎 吉和 (鞆田自治協議会会長)
中島 美輝 (玉滝地域まちづくり協議会会長)
藤森 宣博 (丸柱植地域まちづくり協議会会長)
本田 基久 (伊賀市阿山地区民生委員児童委員協議会会長)
中森 研 (伊賀市社会福祉協議会地域支援課課長 代理
野田 守)
松山 安利 (伊賀市商工会阿山支部支部長)

【事務局】

交通政策課：課長 井上 忠生、主幹 坂森 莊平
主査 稲森 紘子、主査 中川 達司
八千代エンジニアリング株式会社：技術士 三上 和宏、三門 智祐

■傍聴者 0人

■会議概要

1. 開会 挨拶：交通政策課 井上 忠生課長
2. 部会長、副部会長の互選について
(互選結果・敬称略)
部会長 岩崎 吉和 (鞆田自治協議会会長)
副部会長 中島 美輝 (玉滝地域まちづくり協議会会長)
3. 協議事項
・新たな運行形態導入検討について
事務局から資料1-1に基づき説明。
委員から資料1-2に基づき意見を聴取。

【質疑応答】

事務局	①地域のみなさまの「外出手段」は、やはり車中心のスタイルでしょうか。またその場合、お年寄り等は、自分で運転、誰かの送迎・同乗等のどちらが多そうでしょうか。
-----	---

	<p>②また、バス等を利用する人は、どのような「タイプ」の方、あるいは、どのような「目的」の方が中心でしょうか。お気づきの範囲で、概況を教えてください。</p> <p>③バス等が通っていても、「あまり利用されない理由」として、お気づきのこと、あるいは、お住まいのみなさまから得られたご意見等があれば、お教えてください。</p> <p>以上、3点についてお気づきの点等あれば教えてください。</p>
事務局	<p>今日、社協さんからお配りいただきましたアンケートの資料を見てみますと、①②③の質問の内容が8ページぐらい書かれていて、今日の質問と一緒に内容について、既にアンケートを取っていただいているのですが、改めて今おられる皆さんの意見としていただければと思います。</p>
部委員	<p>アンケートの概要について説明させていただく。</p> <p>今日お配りしたアンケートの結果報告書は、昨年の11月にまちづくり協議会や区長さんを通じて全体へ配布し、年内に回収した内容で、集計については、名古屋のアンケート調査の業者に依頼し、年度末ぐらいに調査結果の報告書をいただいた。</p> <p>最初に、実施主体の団体については、平成31年度に、阿山地域の介護予防の居場所づくりを考える会が結成され、伊賀市社協が事務局として会の運営のお手伝いをさせていただいている、今年で4年目の任意団体となっている。この会には三つの部会があり、一つの部会が地域福祉ネットワーク会議で、全部のまち協の会長さんが部会員という形で入っている。二つ目は、いきいきサロンというのがあり、高齢者の居場所づくりを考える部会。三つ目の部会は、生活支援についても検討していきたいという声があり、生活支援検討部会ができた、この部会は、大きな部会で、こちらの部会でアンケートを手作りで実施。去年の夏ぐらいから、会議を開催し、アンケート項目や配布方法を色々検討し、アンケートをとった結果がこちらの報告書となっている。</p> <p>一昨年ぐらいから、交通についてのアンケートをとってはどうかということで、話を進めていた。今後については、アンケート結果を区には4月に配布しており、考える会から市の方へ提言していきたいと考えている。</p>
部委員	<p>阿山は地域によって事情が異なる。このアンケートは65歳以上の年齢制限をとっているのので、地域の学生さんなどすべてを網羅していない。今の路線バスも玉滝線とは言いながら、阿山支所で止まっており、市の行政バスもアンケート結果にも出ているが、非常に利便性が悪い。住んでいる皆さんは、自分に置き換えてみると、行きたい日時、行きたいところへ行きたいので、自分で車</p>

	<p>を運転している。最終的な結論は、皆さんは中身がわからなくてもデマンドということに意見は集約されている。行政バスは、もっと利便性を高めるためにフリー乗降の導入や、時間帯の工夫等されているが、使う方としては乗っている時間が長いとか、データのとおり利用率が低い、負のスパイラルになっている。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりで、昨年ご議論いただき、阿山だけフリー乗降を設けさせていただきましたが、なかなか利用者数が上がってこないのが現実です。ただ、いつもご活用いただいている方も数名おられます。アンケート結果には、約70%の方がデマンドのことに興味をいただいています。最終的な到達点は、そういう形になるのかなと思っていますが、どうやって運用していくのかとか、今、阿山全体の地域のことを考えたときに、玉滝線がどうやっていくのかというのが非常に大きな部分を占めることになると思います。玉滝線が、いつまでもあって、ここまでの路線が確保されているというなかで考えていくのか、玉滝線がなくなった時のことも含めて阿山全体で考えて、そこを基本のラインにしたうえで、そこまで寄ってくる部分をデマンドで補っていくのかなど、考え方は色々あります。</p> <p>行政バスから少し外れますが、神戸地域でやっているような「かんべ北斗号」という、自治協単位でやっているバスがあります。そういう形で、地域の方の思いを細かい部分でくみ取って、時間帯や行き先を固定して、ある程度決めたとうえで、自治協単位で走らせていくといった考え方もあります。その辺は、この場ではなくもっと地区に入り込んで話をする必要があると思っています。</p> <p>阿山が一番難しいといえますか、4地区を繋ぐのか、繋がらないのか、生活形態を一部滋賀県の方に買い物とかを考えていくことも視野に入れていかないといけないのかとか、そういう意味では、色々な課題があり、解決しなければならない部分が多いなかで、こうやってアンケートをとっていただいているということは、とても有難いと思っています。</p>
事務局	<p>実際、高校生で玉滝線に乗って学校へ行かれていますか。</p>
部委員	<p>河合地区であれば乗っているかもわからないが、乗っていないのではないかと。</p>
事務局	<p>昨年、乗り込み調査した時は、お一人乗ってくれていました。</p>
部委員	<p>三重交通は、営業で赤字になったらやめとけとなる。負のスパイラルのような感じで、最終的に、おそらく玉滝線はなくなると思う。電車のJR、伊賀鉄道、近鉄は、だんだんと縮小されている。阿山地域と大山田地域は、電車が通っていないので、JR、伊賀鉄</p>

	<p>道、近鉄と一所懸命言っても、はっきり言って関係ない。ここにお金を入れるのであれば、我々のところへもっと入れてほしい。行政バスの数をもっと増やすなど、そういう考えを持ってほしい。</p>
部委員	<p>高校生は、いわゆる負のスパイラル、乗るバスがなくなってくる。我々の時代は、自転車で上野まで通学し、雨の日はバスに乗って行く。だんだん人口も少なくなり、高校生も少なくなる、バスの便も少なくなる。ここから名張の高校まで通っている子がいる、うまいこと伊賀鉄道の時間に間に合わない、ここから親に負担をかけず、自分で行こうとすると、佐那具の駅まで自転車で行って、そこから JR に乗って、伊賀上野から伊賀鉄道に乗って行く。そうすると時間がかかりかかるので、朝早く行かなくてはならない。バスがうまいことないので、結局は親が、その時間に送っていかなければならない。少し話を聞くと、子どもが高校生になるとお母さん方が仕事を辞めて送り迎えをしており、結局は、家の経済的な負担になる。子どももそれを考えると遠いところへ行けない。子どもも犠牲になる。その辺も気の毒である。</p> <p>阿山地域は、私は、河合であるが、玉滝や鞆田になると滋賀県との繋がりが多く、学校も昔は、甲賀や甲南の高校へ行っていた。</p>
事務局	<p>この地域は、大山田や友生みたいに、川沿いに道があるような地形ではなく、谷に皆さんの集落があり、となりの集落が見えない地形になっているので、かなり複雑です。</p> <p>高校生は、いるはずなのに1人しか乗っていないというのは、親が頑張って送り迎えをしているということでしょうか。</p>
部委員	<p>同じ高校へ行く子が3人ぐらい阿山支所へ寄って来て、親が交替で毎日送り迎えをしていた。結局、バスがないので、そうせざるを得なかった。</p>
部委員	<p>高齢者に関しては主に買い物。佐那具のマックスバリュは自家用車の交通の便が良いので、あの場所に建っているわけで、バスの便を考えていない。我々みたいに、車を運転する者からすると行きやすい。バスに乗る人のニーズと買い物に行く人のニーズに違いが出てきている。</p>
部委員	<p>若い人が外へ出てしまっている。今までは、親が年取ったら、子どもが運転していたが、若い人が外へ出てしまっているので、年取っても自分と運転しなくてはならない。高齢者になってもなかなか免許を返納できない。そういうなかで、行政バスを、免許を返納した方が楽に出かけられるような交通手段にしてほしい。</p>
部委員	<p>新堂のオークワまでシニアカーが連なって行っていると聞いた。免許を返納したらシニアカーに乗るしかない。</p>

事務局	<p>他の地域部会では、シニアカーの道を造ってほしいという意見もありました。</p> <p>公共交通としてお金をとって運行する交通と、生活支援みたいな形で、名張市みたいに自治協にお金を渡して、困りごとに対する支援ということで、お買い物に行く人たちの時間帯を合わせて、電球が切れましたとか、お買い物に行くのに荷物が大きいので助けてほしい、送ってほしいとか、市から福祉部局の方へお金を出して、地区の方へ預けて、それで動いてくれる人の対価として、それを使ってもらうような仕組み。公共交通と言っても、お金をとらなければならない私どもの部門と、福祉とか買い物バスとか、無償で色々動いているバスを一度整理して、綺麗に線引きをしていかないと、結局は、10人乗りのバスが、用途の違うところで行き来していて、なかには1人か2人しか乗っていないとかいうことになる。私どもの仕事としては、しっかり整理して、無駄のないように、そういうお金を有効に使えるようにしていかなければいけないと思っています。</p>
部委員	<p>河合診療所のバスはたくさん乗っている。</p> <p>市の行政バスは、結局、地域のニーズと合っていない。</p>
部委員	<p>小学校は、スクールバスが走っている。そのスクールバスに乗る子を、行政バスに乗ってもらうと、行政バスの乗車数も増える。</p> <p>また、スクールバスにかかっているお金がなくなり、その分のお金を地域のバスにまわすといった考えはできないか。</p> <p>河合地域以外は、すべての地域にスクールバスが走っている。</p>
事務局	<p>そういう考えはできる。大山田や島ヶ原では既にやっています。</p> <p>そういうことも、地域の実情に応じて整理していく必要があると思います。</p>
事務局	<p>今後に向けた地域のご意向を聞かせていただきたいと思っています。</p> <p>市では、デマンドには限りませんが、新しい運行形態を導入していきたいと考えているなかで、阿山地域をモデルとして、先行的に「実証運行」を行う場合、「取り組みたい」と思われますか。ご意向をお教えてください。</p>
部委員	<p>このデマンドの導入は、行政バスは6路線あるが、各路線にデマンドを入れていくのか。市全体で1つか。</p>
事務局	<p>今イメージしているのは、支所単位で考えています。</p> <p>デマンドには限っておらず、検討した結果、本線一本を行政バスにして、その行政バスに繋げるバスを地域ですするというやり方もありますし、阿山で考えられるのは、玉滝線がないことを想定して検討していくのか、もう少し時間があるので、どこかのモデル地区を見ながら検討していくとか、玉滝線の動向を見ながら検討</p>

	<p>していくとか、もう玉滝線はいらないのでその代替のバスを地域で検討していくとか、色々と考え方があります。</p>
部委員	<p>そもそもデマンドは、どこまで行けるのか。</p>
事務局	<p>その問題もあります。</p> <p>あと、もしデマンド運行をするとすると、オペレーションの部分で、誰が予約を受け付けて、どういう単位で、また行政がそれを担うのか、自治協か、例えば、4自治協さんで、1つの組織をつくってやるのか、という問題もあります。デマンドというのは、いついつ、どこからどこまで行きたいかというのを聞き取るわけで、朝夕は、子どものために定時定路線で走らせます、月曜日の昼間は、例えば、河合地区の方のご意向を聞き、火曜日は、丸柱の方のご意向を聞きますとか、バスは2台ありますので、月曜火曜は二つの地域を走らすとか、選択肢はたくさんあります。</p>
部委員	<p>阿山全体でデマンドを検討するのは難しい。生活の繋がりは、河合地区は上野でいいが、玉滝地区や鞆田地区の方は、滋賀県の方が便利なので、そちらの方へ出かけることが多い。県境を越えるという問題もある。</p>
事務局	<p>阿山地域は、県境を越えるという課題があると思います。滋賀県は、近畿で、三重県は中部なので運輸局が違う。許可の関係で勉強しなければならないと考えています。</p> <p>また、本当に乗る人のご意見も聞く必要があると思っています。</p>
部委員	<p>行政バスは、買い物や通院だけのものなのか、遊びも含めてのバスなのか、遊びも含めてのバスなのであれば、もう少し便数を増やしてほしい。</p> <p>デマンドということになれば、子どものいる立場からすれば高校まで送ってもらえれば有難い。あと、タクシーもスマホで予約できるので、スマホで予約できるようにしていただくと助かる。</p>
事務局	<p>サービスの的には、おっしゃられるとおり、遊びも含め、買い物や通院などすべてですが、今の状況で、どこが一番乗っていただけるかが重要で、乗ってもらわないといけないので、負のスパイラスとよく言われますが、結局一番需要の多いところに、バスの時間帯などを合わしていかないと、限られた便数をどこに持って行くかということで、今みたいな形になってしまっているというのが現状です。おっしゃられるとおり旅行に行くときとか家族に乗ってもらおうとか、子どもたちが遊びに行くときに使ってもらえるのが理想的ですが、そういうことは、デマンドとかで予約してもらって、対応できればと思います。</p> <p>高校まで行くとなると法律的な壁があります、なかなか難しい部分がありますが、どうやって阿山地域の高校生たちを不便があっ</p>

	ても、ある程度今まで以上に利便性よく上野や名張の学校に通っていただけるように考えていかなければならないと思っています。
部委員	以前は、新堂駅まで行くような早朝のバスがあったが、乗らなくなったので、今はなくなったのか。
事務局	今、玉滝線に朝早い便があります。佐那具にある「西方寺」というバス停で、柘植から来るバスと接続させて上野市駅まで早く行けるように、乗り継ぎは必要になりますが、そのような便の設定をしています。次の便に乗っていただくと例えば上野高校には8時頃に着く便がもう1本あります、この2つがありますが、なかなかご利用いただけていないのが現状です。 バスを乗り継いで行くと非常に運賃が高くなると聞いていますが、バスが約10万円で乗り放題という年間通学定期があって、鉄道より安いので、例えば、柘植から名張の高校に通っている生徒さんは、上野市駅乗り換えで、時間はかかるのですが、1枚の定期でバスを使って通っているということを聞かせてもらっています。
部委員	昔は、自家用車があまりなく、自転車とかバスに乗らなければ高校に行けなかった。生活様式が変わった。
事務局	6月24日の青山の地域部会で、各地域の意見聴取がひととおり終わります。市がお金をかけてコンサルを入れて検討するモデル地域は1地域ですが、そのモデル地域でなくても、このような話を定期的にできるような場を持ちたいと考えています。 阿山地域については、このようなしっかりしたアンケート結果があるので、この地域部会という形ではなく、社協さんや自治協さんが入っている部会があるのであれば、私どもがお邪魔させていただいて、皆で話ができる場を検討いただければ有難いです。
部委員	デマンド交通を導入している他市の事例や、地域で運行しているバスとか、既に他地域で行っている外出支援等の資料もそのような場で説明いただければと思う。
部委員	スマホ予約は、若い人はよいが高齢者には厳しい。電話予約も考える必要ある。
事務局	他市でデマンドを導入しているところは、AIなどのデジタルの部分と電話予約のアナログの部分と並行して運行しているところもあると聞いています。
事務局	支所と相談して、自治協さんが集まる場所へ、私どもと福祉部局が一緒にお邪魔させていただくといったこともできるかと思っています。
部委員	交通政策課と福祉部局と連携をとっていただき、お願いしたい。

4. 報告事項

- ・ JR 関西本線について
事務局から資料 2 に基づき説明。

【質疑応答】

部委員	<p>個人的には、土日で言ったら、関西本線はハイキングの人とか結構乗ってくれていると思う。それでも少ないとなると思う。</p> <p>なお、乗り継ぎで言ったら、亀山で JR 西日本から東海に変わるので、8時半以降になると亀山で 30 分から 40 分ぐらい待たないといけなくなる。その辺を考えてほしい。</p> <p>また、個人的な意見としたら、伊賀上野で朝 6 時が発車なのですが、伊賀上野を 4 時に出発してくれれば、亀山の 4 時 53 分発に乗れ、名古屋で朝一の新幹線に乗れるので、もう少し利便性があると思う。</p>
-----	---

5. その他

特になし

(終 了)